

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	精神看護学実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3学年		学期及び曜時限		教室名	各実習施設
担 当 教 員	松岡 清子	実務経験と その関連資格	国立京都病院、兵庫中央病院等で計21年勤務 看護師			
《授業科目における学習内容》						
精神を障がいされた対象および家族を理解し、日常生活や社会生活への適応を支援するための基礎的能力を習得する。 また対象との人間(対人)関係を振り返り、自己理解(洞察)できる態度を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
実習指導者による行動目標の達成度評価表、実習生の出席状況、実習報告会の評価などによる総合評価とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
《授業外における学習方法》						
事前学習、課題学習を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける機会です。実習をより実りあるものにする為に学内での授業・実習をしっかり受講し、事前準備を万全にして臨んでください。						
実習プログラム						
実習期間 時間数	2021年 5月6日～10月29日 合計90時間					
実習の目的	精神障がいをもつ対象の発達段階を捉え、身体的・精神的・社会的統合体として説明できる。 看護過程を展開し、対象の自己決定を支えつつ、対象のありたい姿に向けた援助ができる。 対象を取り巻く関連職種と連携の必要性を認識し、継続看護の重要性を説明できる。 対象-学生関係での言動から自己の傾向を振り返り、自己洞察ができる。					
実習の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1)現在に至るまでの対象のもつ疾患、障がいの経過について考える。 2)精神に障がいをもつ対象に寄り添い、生活背景を知ること対象理解につなげる。 3)対象を統合的に理解し、健康的な側面と障がいの側面を知る。 4)精神科病棟における安全管理や治療環境を知る。 5)疾病や障がいについて対象や家族の思いを知る。 6)精神症状が日常生活に及ぼす影響と、生育歴や生活環境が対象に及ぼす影響を知る。 7)対象の健康上の問題点を明らかにする。 8)アセスメントに基づき看護の方向性を見出し、看護目標を設定する。 9)看護目標の達成に必要な援助計画を、対象の健康的な側面、持ちうる力を活用しながら具体的に立案する。 10)看護過程の展開が問題解決に効果的であったか評価する。 11)対象の反応や状態から、個別性のある計画を立案していく。 12)精神障がい者の社会復帰や社会参加に必要なサービスや社会資源について知る。 13)精神障がい者を支援する多職種の連携・協働における看護師の役割を知る。 14)精神保健医療に特有の安全対策と人権擁護に関わる看護の役割・機能を知る。 15)対象者との相互作用の場面を描写する。 16)対象との関わりの中で生じる気持ちに気付き、検討し、自己洞察を深める。 17)患者と看護者の関係についての理解を深め、援助技術としての治療的コミュニケーションのあり方について考える。 18)自己の健康管理に努める。 19)看護学生としてふさわしい品行を常に維持する。 					